

## (専門分野)

授業科目	小児看護学概論	講師	外部講師	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.小児期にある対象を理解する。 2.小児看護の役割・機能を理解する。 3.母子保健、小児保健のあり方について理解する。 4.子どもの権利を保障することの必要性について理解する。				時間数
					15
					学年
					1
					時期
					第2学期
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1	小児看護の対象と役割	1.小児看護の対象 1)小児期の区分・特性 2)成長発達の進み方の一般原則： 臨界期・キャッチアップ現象) 3)小児看護学で用いられる発達理論 2.小児看護の役割 3.健康保持・増進のための看護の場と活動		講義	外部講師
2	小児医療、小児看護の変遷	1.小児観の変遷 2.小児医療、小児看護の変遷		講義	外部講師
3~4	母子保健と小児保健	1.小児の保健統計 2.母子保健の動向		講義	外部講師
5~6	子どもの人権と看護	1.医療現場で起こりやすい問題点 1)説明と同意、意思決定 2)親権・代理決定 3)アドボカシー 2.子どもを取り巻く社会の変化		講義	外部講師
7		1.子どもの権利に関わる法規 1)予防接種法 2)児童福祉法・学校保健安全法 子どもの権利条約		講義	外部講師
8	評価	単位認定試験 (45分)			
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論 国民衛生の動向		